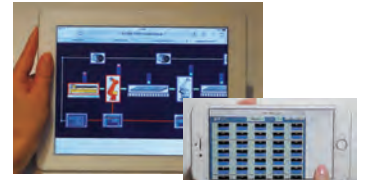


## 謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。  
本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 2018年 ニュース・イベントピックアップ (それぞれをクリックして詳細へ)

- [1月31日](#) [RTView 新バージョン 7.1 リリースで、Java ベース環境を強化など](#)  
SL 社のリアルタイムデータのグラフィックな可視化と監視ダッシュボード構築ツール
- [3月9日](#) [Application Performance 2017 セッション内容の拡大版セミナー開催:](#)  
複数のオペレーション/データセンターから集約した異種性能データを、  
モバイルで監視できるクラウド運用ダッシュボードのカスタム構築 @TEPIA (青山)
- [3月30日](#) [Java ベースの SL-GMS 新バージョン 4.5a で Red Hat Enterprise Linux 7 に  
対応した 64 bit 版新製品をリリース、JDK 1.9 をサポート追加など:](#)  
比類なく Web/リモート運用に強い監視制御システムの開発を専門とする  
ダイナミック GUI/HMI ツール
- [4月19日](#) [Microsoft .NET ベースの 64 bit 版 SL-GMS を採用し、さらに進化する  
NEC の水処理向け監視制御システム:](#) [事例より右画面]  
64 bit ネイティブ対応した新世代監視制御システムの操作卓 GUI/HMI  
ならびにシステム専用のカスタムエディタを SL-GMS で開発
- [5月15日](#) [米 SL 社、IoT 向け RTView Cloud を発表:](#)  
米サンタクララ市で開催の Internet of Things World にて、  
IoT プラットフォームである Samsung ARTIK と連携デモ
- [5月22日](#) [荏原環境プラントが、ごみ焼却施設における監視制御システムの開発で  
Microsoft .NET ベースの SL-GMS を採用:](#) [事例より右画面]  
制御システム (DCS/SCADA) 専門のダイナミック GUI/HMI ツールによって、  
開発・保守工程における生産性を加速し、高性能な操作卓の TCO を削減
- [6月5日](#) [SL ジャパンは、設立20周年を迎えました。\[右下写真\]](#)  
これまでご支援くださいましたお客様ならびにお取引先様に、心よりお礼申し上げます。
- [6月15日](#) [さまざまな技法のデモと事例\(画面\)による具体的な解説でユーザーにも  
好評の「SL-GMS 構築技法セミナー」開催:](#) [右下写真]  
リモートデスクトップによるシンクライアント運用や 64 bit 化などの新しい事例4件を  
追加、国内事例で見る制御システム (DCS/SCADA) の開発動向 @TEPIA (青山)
- [7月31日](#) [月刊「計装」7月号 2018 で SL-GMS の記事掲載:](#)  
「64 bit 対応制御システムの開発を支援する HMI ツールの新展開」
- [9月14日](#) [SL ジャパンの代表取締役社長である羽島良重が、JPタワー ホール&カンファ  
レンスで開催された IoT World Conference 東京 2018 で講演:](#) [右下写真]  
「IoT データのリアルタイムな可視化と監視におけるカスタム構築  
～中央制御室から、モバイルで一元監視するダッシュボードまでの事例とデモ～」
- [10月29日](#) [Microsoft .NET 版 SL-GMS の新バージョン 5.1a をリリースし、  
64 bit 化が進む制御システム \(DCS/SCADA\) の開発をさらに支援強化:](#)  
インストーラ刷新で Windows 10 のサポートを強化、64 bit 版製品では  
新しい DirectX グラフィックエンジンオプションを拡張など [裏面記事]
- [10月30日](#) [SL ジャパン、平成30年度東京都赤十字大会において「社長感謝状」を受章](#)
- [12月25日](#) [監視操作卓のダイナミック GUI と専用カスタムエディタの開発ツールである  
SL-GMS C++/Developer の新バージョン 7.1a をリリース:](#) [裏面記事]  
高度な制御システム (DCS/SCADA) の Windows 10 対応ならびに 64 bit 化、  
Windows Server 2019 サポート追加によるリモートデスクトップ運用などを支援強化
- [12月27日](#) [SL ジャパンは 2018年度 \(12月決算\) の利益の一部から、  
日本赤十字社に 500,000 円を寄付しました。](#)



IoT など複数現場から  
集約した異種性能データをモバイルで監視  
できるクラウド運用ダッシュボードのカスタム構築



日本電気(株)様 ご開発 [事例より]  
64 bit ネイティブ対応した新世代の監視制御システム



荏原環境プラント(株)様 ご開発 [事例より]  
ごみ焼却施設における監視制御システム



**Newsletter No. 60**  
**May 2018**  
**設立 20 周年記念号より:**  
米国 SL Corporation  
プレジデント & CEO  
トム・ルビンスキ  
株式会社 SL ジャパン  
代表取締役社長 羽島 良重



SL-GMS 構築技法セミナー @TEPIA (青山)



IoT World Conference 東京 2018:  
椅子を追加しての人気セッションとなりました。

# SL-GMS 新バージョン 5.1a (.NET), 7.1a (C++) でインストーラ刷新、Windows Server 2019 サポート追加

2018年10月29日, 12月25日 ニュースリリースより:

10月にリリースした SL-GMS Developer for .NET 新バージョン 5.1a ならびに12月にリリースした SL-GMS C++/Developer 新バージョン 7.1a では、インストーラを刷新して Windows 10 のサポートをさらに強化した他、64 bit 版 SL-GMS 製品で2017年に新たに導入された DirectX (Direct2D) のグラフィックエンジンオプションにおける性能改善やアンチエイリアシング用 API 追加などの機能拡張をしています。その他、従来の Windows Server 2016 に加え、Windows Server 2019 をサポート追加しており、近年増えているリモートデスクトップ運用で活用できます。

比類なくコンパクトで高速な SL-GMS では、Windows Server 2019 のリモートデスクトップサービスを利用し、SL-GMSDraw ダイナミックグラフィックエディタで対話的に開発したデスクトップ運用の同じコンテンツリッチで高対話性の操作卓画面を、手直しすることなくそのままリモートデスクトップでシンクライアント運用でき、スマートフォンやタブレットなどのモバイルからも使用できます。

☆ニュースリリース全文はこちら: [http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2018/sl\\_j\\_press\\_181029.shtml](http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2018/sl_j_press_181029.shtml) (.NET)  
[http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2018/sl\\_j\\_press\\_181225.shtml](http://www.sl-j.co.jp/newsevents/pressrelease/2018/sl_j_press_181225.shtml) (C++)



Windows Server 2019 を使い、コンパクトで高速な SL-GMS をリモートデスクトップでシンクライアント運用し、モバイルから閲覧操作

## NASA 国際宇宙ステーション (ISS) モニターサイト @ 米 SL 本社

米 SL 本社のウェブサイトで、NASA 国際宇宙ステーション (ISS) のモニターデモを公開しています。こちらは、米 Tietronix Software 社によって Lightstreamer リアルタイムメッセンジングサーバへ24時間ノンストップでストリーミングされているさまざまな ISS 監視データを、米 SL 社の IoT 向け RTView Cloud がライブでリアルタイムに可視化して表示しているものです:

- Atmosphere Control Systems 大気制御システム
- Attitude Status 姿勢情報システム
- Communication Systems 通信システム
- Position Status 位置情報システム
- Regenerative Life Support 再生系生命維持システム
- Thermal Control System 熱制御システム
- Control Moment Gyros 姿勢制御装置
- Computer Network コンピュータネットワーク
- Power Channels 電力供給チャンネル



位置情報システム



大気制御システム

RTView Cloud は、米 SL 社が開発している次世代のクラウドベース可視化と監視ツールです。

☆国際宇宙ステーション (ISS) モニターサイト: <https://sl.com/products/rtview-cloud-for-iot/>

ページ下方の NASA ロゴマークのところでクリックすると入れます。

## IoT World 拡大版セミナー開催のご案内



**拡大版セミナー 「IoT データのリアルタイムな可視化と監視におけるカスタム構築 ~中央制御室から、モバイルで一元監視するダッシュボードまでの事例とデモ~」**

★2019年3月8日 (金) 15:00 ~ 17:00 [無料・事前登録制] @TEPIA (東京・外苑前駅から徒歩4分)

膨大な数のデバイスやセンサを広域ネットワークで結び、中央制御室における24時間ノンストップの監視で IoT を先駆けてきた SL-GMS ユーザ様の国内事例を、実際の画面とともにご紹介します。また、工場やデータセンターなど複数現場からの異種 IoT データを集約し、モバイルからアクセスするクラウド運用の一元監視ダッシュボードの「カスタム構築」を、実際の RTView デモでご覧いただけます。

米 SL は、30年以上に渡ってセンサや計測器、ソフトウェアなどによって収集されるリアルタイムデータのグラフィックな可視化ツールに全力を注いできた専門メーカーで、日本国内においても「モノの監視 Monitoring of Things」に集約されるさまざまな設備監視 (ICT 設備、電気設備、生産設備など) で長年の実績を誇っています。

セミナーサイト (事前登録): [http://www.sl-j.co.jp/newsevents/iot-world2018\\_session.shtml](http://www.sl-j.co.jp/newsevents/iot-world2018_session.shtml)  
トップページからも入れます。

昨秋9月14日にJPタワー ホール&カンファレンスで開催された、IoT World Conference 東京 2018 セッション内容の『拡大版セミナー』です。



Real-Time Visibility

年3回発行 2019年1月15日発行 通巻62号

- ◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
- ◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階  
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp